

建設部の方針書

部 名	建設部
部長名	池田智

1. 部の使命(ありたい姿)

「安全・安心で快適な 住み続けられるまちづくり」	
☆暮らしを支える社会基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます ☆社会や自然環境の変動にも柔軟に対応し住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを進めます。	
担当政策	政策5:暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
担当施策	5-1:雪国の快適な暮らしの実現 5-2:快適な移動空間の実現 5-4:地域拠点整備による市街地の活性化 5-6:市民がくつろげる公共空間の整備

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽化する既存インフラ施設への計画的な取り組み ○ 人口減少・高齢化社会における持続可能で魅力的なまちづくりに向けた取り組み ○ 地震や大雪、大雨などの自然災害にも簡単にはくじけない、しなやかなまちづくりに向けた取り組み ○ 住み続けたいくなる住まいと暮らしづくりに向けた取り組み

3. 今年度の『スローガン』

<p>『安心して住み、子育てできる、魅力的なまちづくりに向け、 今、歩みを進めるとき！』</p> <p>～住みたくなり、住み続けることができる、優しくしなやかなまちづくりを目指して～</p>

4. 今年度の方針

<p>(1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理</p> <p>(2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり</p> <p>(3) 未来に向けた住環境の質的向上促進</p>
--

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理
	取組内容	◇既存インフラの適正な点検・調査及び長寿命化計画策定による安全性・信頼性の確保 ◇住みたくなる安全安心快適な生活環境の確保 ◇冬期における安全で安心な市民生活の確保 ◇市に関連するインフラ事業の実現・促進のための各同盟会・要望活動等の強化
(2)	実現したい成果	人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
	取組内容	◇魅力あるまちづくりに向けた都市再生整備計画の策定と、うるおいのあるまちなみ形成 ◇持続可能でしなやかなまちづくりのための都市基盤整備の推進 ◇まちなか居住の推進に向けた第一種市街地再開発事業の着実な推進
(3)	実現したい成果	未来に向けた住環境の質的向上促進
	取組内容	◇人口減少の緩和に向け安全安心で快適な住環境対策の促進 ◇市有建築物の適切な維持管理・営繕工事等の実施 ◇住生活基本計画に基づいた住宅確保要配慮者への入居支援

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理
 - ・橋梁点検、幹線道路の路面性状調査等については、委託発注等により実施中である
 - ・跨線橋の耐震補強計画策定に向けて、JRと協議するため、日程調整中である
 - ・橋りょう補修、道路改良、舗装補修等の工事については、発注計画に基づき実施している
 - ・雨水排水対策工事については、金沢中野地区は施工中、朝日が丘地区は発注済である
 - ・事業実施における用地取得、物件移転は適切に実施している
 - ・秋田自動車道四車線化促進に係る要望活動に関しては、規模を縮小し合同要望、単独要望を行った
 - ・6月5日に横手北スマートIC利用台数50万台達成記念イベントを開催した
 - ・除雪管理システムの更新及び保守業務委託の発注を行った
 - ・9月29日に雪対策連絡協議会を開催し、第2期計画の振り返りと第3期計画の取組み状況の確認を行った
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
 - ・都市再生整備計画事業の策定に向け市内での協議を進めるとともに、国県との調整を図っている
 - ・横手・十文字2地域の用途地域変更に向け、住民説明会を開催した
 - ・難航していた三枚橋地区地権者との仮換地交渉4件すべてを解決し、換地処分への業務を進めている
 - ・横手公園をはじめ雪害を受けた各地域の公園について、予算化を行い復旧事業に着手している
 - ・他部署からの依頼工事4件・委託業務4件を発注した
 - ・市街地再開発事業の着実な推進のため、理事会、総会、税務説明会、関係各機関との会議等を実施した
 - ・国補助社会資本整備総合交付金、県補助金、市補助金(R2繰越・R3現年)の申請交付手続きを実施した
- (3) 未来に向けた住環境の質的向上促進
 - ・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業については、チラシの全戸配布を行い、9月末現在133件の交付決定
 - ・木造住宅の耐震診断、耐震改修等については、9月末現在診断は5件、改修・改築補助は3件の申請数
 - ・市営住宅等の改修工事、他課依頼の大型の営繕工事については、計画的に発注し工事監理をしている
 - ・老朽化が著しい市営住宅の用途廃止に向け、住替えの意向調査・個別相談を行い、年度内に2件の住替え予定
 - ・防災拠点等の耐震診断・耐震改修に向けて、各施設管理者、関係各課と情報共有し継続協議を行っている
 - ・市営住宅等の指定管理については月1回運営協議会を開催し適切な管理運営を行っている

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理
 - ・道路施設(トンネル、スノージェット、歩道橋)の長寿命化計画策定業務委託を発注する
 - ・コロナ禍における国等関係機関への要望活動方法を再検討する
 - ・横手北スマートICの利用促進を図るため、チラシの設置を行い、地区協議会を11月に開催する
 - ・除雪管理システムは本格導入から3年目となり、新たな活用方法も含めた検証を行う
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
 - ・都市再生整備計画事業について、引き続き計画策定を進めるとともに、内容について議会へ説明する
 - ・用途地域等の見直しについて、都市計画審議会の開催等、法手続きの実施に向けた取り組みを進める
 - ・公園事業について、雪害復旧工事の速やかな発注により年度内完成を図る
 - ・横手駅東口第二地区市街地再開発事業について、再開発組合に対し上半期同様に支援を行っていく
- (3) 未来に向けた住環境の質的向上促進
 - ・雪国よこて安全安心住宅普及促進事業の市民への周知とともに、次年度助成項目の対応を検討する
 - ・耐震診断実施者へ改修・改築に向けたフォローアップを行う
 - ・市営住宅の用途廃止に向け、入居者の住替えについて継続して交渉し、協議が整った方の住替えを行う
 - ・防災拠点等の耐震診断・改修予算化に向けて、施設管理者、財政課等関係各課と方針の整合を図り継続協議する
 - ・市の住宅セーフティーネットの構築に向けて、引き続き居住支援協議会研修会を開催し情報交換を図る

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 安全・安心で持続可能なインフラ施設の計画的な整備・補修と維持管理
 - ・橋りょうの点検・路面性状調査は適切に実施し、法定外公共用財産等についても、適正に管理を行った。
 - ・ほとんどの工事は年度内に完了し、用地取得・物件移転も適正に実施した。
 - ・道路施設の長寿命化計画は、繰越して早期の完成を目指し、跨線橋の耐震補強は、JRと引き続き協議を行っていく。
 - ・第3期横手市総合雪対策基本計画で定めたアクションプログラムに初年度として取組んだ。
- (2) 人口減少社会にあっても魅力的で持続可能なまちづくり
 - ・都市再生整備計画事業の計画策定が完了し、令和4年度からの建設事業着手が決定した。
 - ・横手・十文字2地域の用途地域変更について都市計画審議会に諮り、土地利用方針を決定した。
 - ・雄物川河川公園・大森公園の遊具改修工事を実施するとともに、雪害を受けた公園施設の復旧を完了した。
 - ・まちなか居住の推進に向けた第一種市街地再開発事業において、各種調整を図り円滑に事業を進捗させた。
- (3) 未来に向けた住環境の質的向上促進
 - ・記録的大雪を受け、雪国よこて安全安心住宅普及促進事業において当初予定の倍以上の、187件の補助を行った。
 - ・市営住宅等の改修工事及び他課依頼工事については、計画的に発注・工事監理を行い予定どおり進捗した。
 - ・防災拠点等の耐震診断・耐震改修については、具体的なスケジュール化を目指して継続して協議を行う必要がある。